

見どころ案内

吉田松陰の最期の地

十思公園 (日本橋小伝馬町5-2)

現在、十思公園がある場所は、江戸時代に牢屋のあった場所だ。幕末、幕府の政策に反対した吉田松陰(→p.69)ら多くの志士が処刑されたことで有名だ。



役人の住まいがあった場所

郡代屋敷跡 (日本橋馬喰町2-7)

もとは多くの寺が並ぶ寺町だったが、明暦の大火後に、寺院が深川や駒込に移され、江戸城敷地内にあった郡代屋敷がこの地に置かれた。郡代屋敷とは、幕府のかわりに年貢の徴収や、地域を管理した役人の住まいだ。



写真の案内板は、ここが郡代屋敷だったことを伝えている。

宝くじの元祖

楢森神社 (日本橋堀留町1-10-2)

平安時代に建てられたといわれていて、江戸時代には江戸の三森(日本橋の楢森・新橋の烏森・神田の柳森)の1つとして人々の信仰を集めた。また、宝くじの起源である富くじが江戸時代に



ここで多数行われ、記念の富塚もあり、祈願に訪れる人も多い。

江戸時代には、郡代屋敷や伝馬町牢屋敷があった。どんなところだったか、この地域に伝わる歴史的名所を見てみよう。



ここに牢屋があったの？



公園内には、吉田松陰終焉の地の碑がある。このほかにも、吉田松陰のさまざまな碑がある。



吉田松陰は、幕末に活躍したんだよ！



問屋街にある商売はんじょうの神様

初音森神社 (東日本橋2-27-9)

鎌倉中期に建てられたと伝えられる。郡代屋敷建設のため、本所(現・墨田区)に移転したが、昭和になり現地に儀式殿が建てられた。関ヶ原の合戦に向かう徳川家康の軍隊が、境内にあった三日月の井戸で馬に水を飲ませ必勝祈願をした。商売の神様として信仰を集めている。



家康が乗った名馬「三日月号」の彫刻。

江戸時代から続く、納めの歳の市

薬研堀不動院 (東日本橋2-6-8)

薬研堀不動院では、年末の12月27日～29日の3日間、羽子板や正月用品を売る、納めの歳の市が開催される。大出庫市(衣料品などの大安売り)も同時に行われ、大いにぎわう。

本尊不動明王は、竹つづらのなかに納められていて、正月の3日間だけ公開される。



反省からつくられた

両国広小路記念碑 (東日本橋2-26先)

明暦の大火の際に、浅草御門で多くのぎせい者を出した反省から、幕府が両国橋をかけ、そのたもとに火除地がつくられた。上野、浅草と並ぶ江戸三大広小路の1つに数えられ、盛り場としてにぎわった。



両国橋は千住大橋(荒川区～足立区)について2番目に隅田川にかけられた橋。その後、なん度かかけられ、現在の橋は1932年に完成した。

江戸時代からずっと、この辺りは問屋街なんだね！

どうして問屋が多いの？

このエリアには、さまざまな種類の問屋が集まっている。服飾や日用品、化粧品などの問屋が多い。それは江戸時代、旅籠街にとまる旅人たちを相手に商売をした名残で、現在でもそれが引きつがれているからだ。



大伝馬町の木綿店のようす

現在の大伝馬町一帯には金物問屋が多いが、江戸時代には木綿問屋が集中していた。当時は辺りを「木綿店」とよび、現在では問屋商業発祥の地として知られている。



大きなのれんだね。